

令和3年度 第1回 新潟市子ども・子育て会議 幼保部会  
会議概要

開催日時	令和3年8月6日（金）午前10時00分～午前10時50分
会 場	新潟市役所本館6階 執行部控室
出席委員	小池委員、斎藤委員、志賀委員、平田委員（欠席2名）
事務局等出席者	こども未来部長、保育課長ほか同課職員7名
傍聴者	1名
議事内容	<p><b>【議事】</b></p> <p>（1） 令和4年度に新設等を予定する特定教育・保育施設等について</p> <p>○事務局より、令和4年度に新設を予定している施設等や、新・すこやか未来アクションプラン第2期計画に基づく教育・保育の量の見込みに対する供給量等について説明（資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5により説明）したうえで、委員の意見を聴取しました。</p> <p>○委員からは、下記ご意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度東区にこども園が一園新設され、その関連で市立の石山保育園が将来閉園されるということだが、中野山周辺の他市立園はどうなるのか。 →東区における石山保育園以外の市立園について、現時点では未定である。（事務局）</li> <li>・ 石山保育園は令和6年度末での閉園予定ということだが、令和4年度に新設園ができるとなると、閉園までの間、周辺園の入園児童数に影響を及ぼすのではないか。 →石山保育園については、来年度から受入れを縮小し、令和5年度からは原則受入れを停止するなど、周辺園への影響にも一定程度配慮した運用を行う。（事務局）</li> <li>・ 市立園を閉園する際、受け皿となる新設園を必ず作るのではなく、まず周辺の需給状況を調査したうえで更なる受け皿が必要だと判断できる場合に限り新設を認めるなど、供給過多とならないような工夫が必要ではないか。</li> </ul>

- ・保育所のこども園移行に伴い1号定員が増えているが、既に余剰となっている中で新たに1号定員を認める必要はないのではないか。  
→こども園における1号枠については、就労状況に関わらず在園を続けられるという保護者にとって意義のあるものと捉えているが、一方で市全体としての量の適正化も大事であるため、バランスをみながら適正化を進めていく。
- ・市の全体的な定員の調整も大事であるが、就労状況に関わらず安心して子どもを預けられる環境を整える方がより大事と考えるため、その点を最優先としたうえで量の適正化を進めてもらいたい。

## 【その他】

### (1) 市立保育園配置計画の進捗等について（報告）

○事務局より、市立園の民営化・統廃合等の進捗状況及び基幹保育園の検討状況について報告（資料2により報告）したうえで、委員の意見を聴取しました。

○委員からは、下記ご意見がありました。

- ・令和元年度に宮浦乳児保育園が万代保育園に統合されたが、それにより不便になったなどの意見は出ているか。もしそのような意見が出ているようであれば、反省点として今後に生かしてほしい。  
→現時点でそのような意見は承知していないが、今後市立園の統廃合を進めるにあたっては、従前より不便になったということが起こらないように進めていく。（事務局）
- ・閉園を予定する敷島保育園周辺に私立こども園が移転・増改築されるということだが、移転後も引き続き未満児を受け入れるのか。  
→引き続き未満児を受け入れる。（事務局）
- ・他地域では、きょうだいが入園する場合、一定程度優先されるという話を耳にしたことがあるが、新潟市においてはどのような取り扱いとなっているか。  
→本市では、きょうだい関係の入園の場合、選考指数を加点し、きょうだいが同一園に入園しやすいよう配慮している。（事務局）
- ・保育の質の確保、向上に向けて大事な時期に差し掛かっていると思うので、基幹保育園について積極的に進めてほしい。